

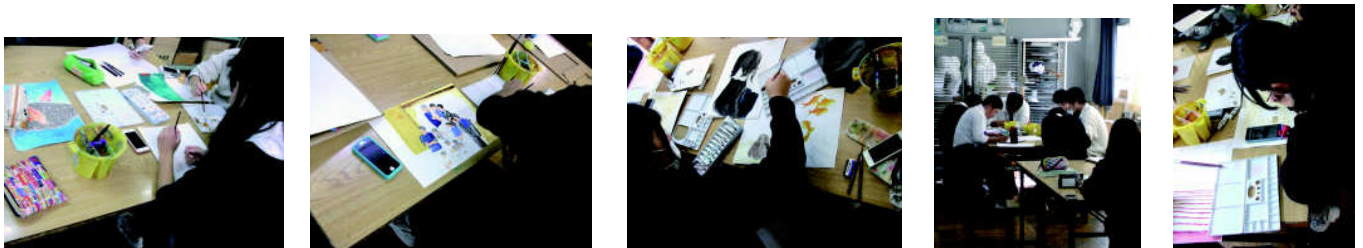
■展開時間 20時間

■この授業でつきたい力

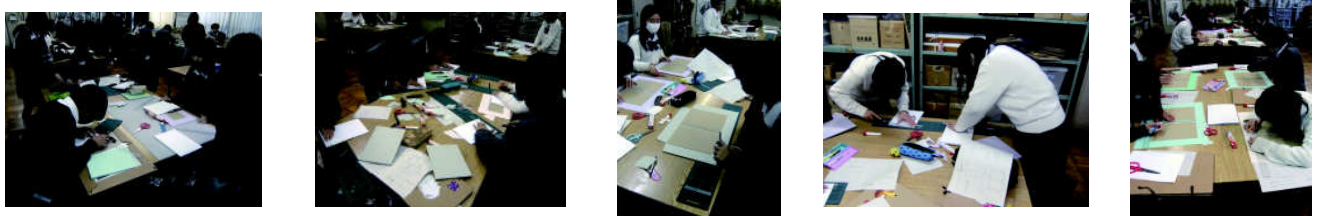
1. 母校の様子を人に伝えるために様々な視点からモチーフを模索しようとする力
2. 絵本としてのまとまりを考えた構成・作画ができる力
3. 与えられた時間の中で計画的に製作を進める力
4. 透明水彩絵具の特性を理解し、それを活かした表現ができる力
5. 他人の作品を鑑賞し、表現の工夫や見せ方などを受け入れる姿勢

■展開

1. **導入** 母校をテーマにした絵本を製作するにあたり構想をねる。
2. **準備・取材** 考えた構想に基づいて写真を撮影し、作画の資料とする。
3. **作画** 最後に製本するため3～10枚の水彩画を描く。(文字を入れても良い)



4. **製本** 2時間かけて製本する。



5. **感想及び鑑賞** 評価カード(制作レポート)を記入し、人の作品を鑑賞する。

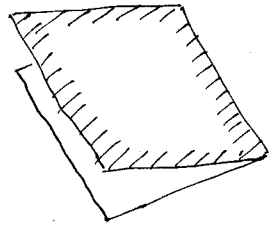


■評価の観点

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
母校をテーマにした絵本を作成するにあたり、創造活動の喜びを味わい、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、美しさなどから母校を如何にして人に伝えるか、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な水彩画の表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて、表現方法を工夫して表わしている。	人が作った絵本の表現の工夫や何を描いているのか等を見て、その良さや美しさを創造的に味わっている。

製本の手順

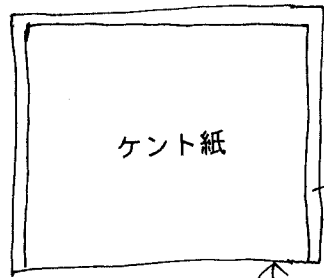
- 1 作品の描いてある面を内側にして、紙の長い方を折る
- 2 作品とは別に白いケント紙2枚も半分に折る
- 3 のりづけする



■ 斜線の部分にのりをつける（片面）

■ 紙の折ってある所を基準にして
貼り合わせて行く

■ 2のケント紙を作品の最初と最後に貼る。

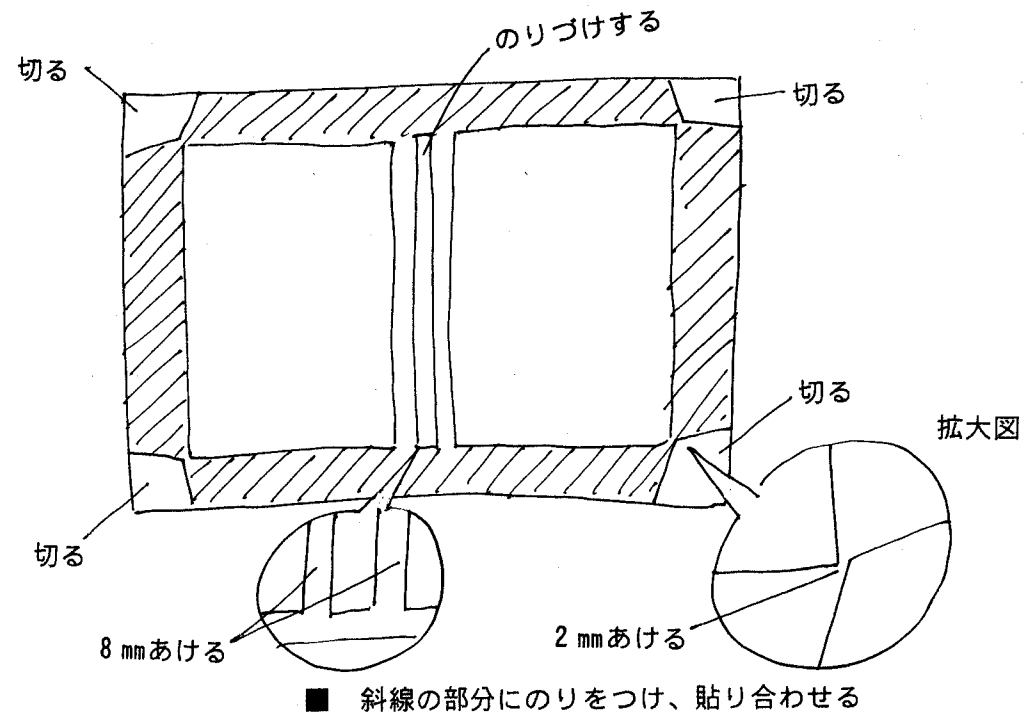


作品

紙が折ってある方

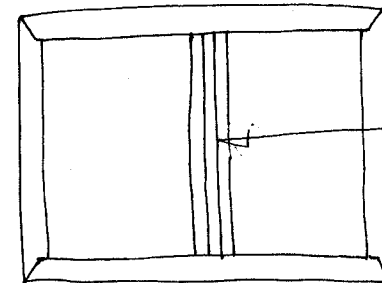
4 表紙を作る

- 4-① ミュースコットン紙のほぼ中心に背表紙部分の黄ボール紙を貼る。
※ミュースコットン紙は模様がある方が表面である。
- 4-② 背表紙との間隔が8ミリになるように、表・裏表紙の黄ボール紙を貼る。
- 4-③ 角の処理をしてから（図参照）ミュースコットン紙を折り返し、のりづけする。



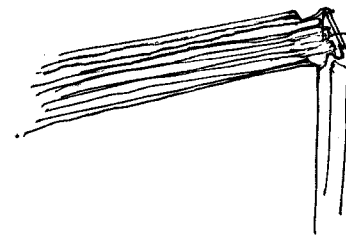
5 ケント紙の大きさに合わせて作品をカッターで切る

6 ケント紙にのりをつけて表紙に片面ずつ貼る



この位置に作品の折ってある方を合わせて、ほぼ真ん中になる様貼る

7 背表紙の型をつけて完成



背表紙の部分はのりづけしない